

東海道五十三次 27 番目の宿場



令和8年3月26日

袋井市長定例記者会見資料  
都市建設部都市計画課・維持管理課

## 【袋井方式】インフラメンテナンス包括的民間委託の社会実験、さらに広範に ～実装に向け、業務範囲や規模を拡大～

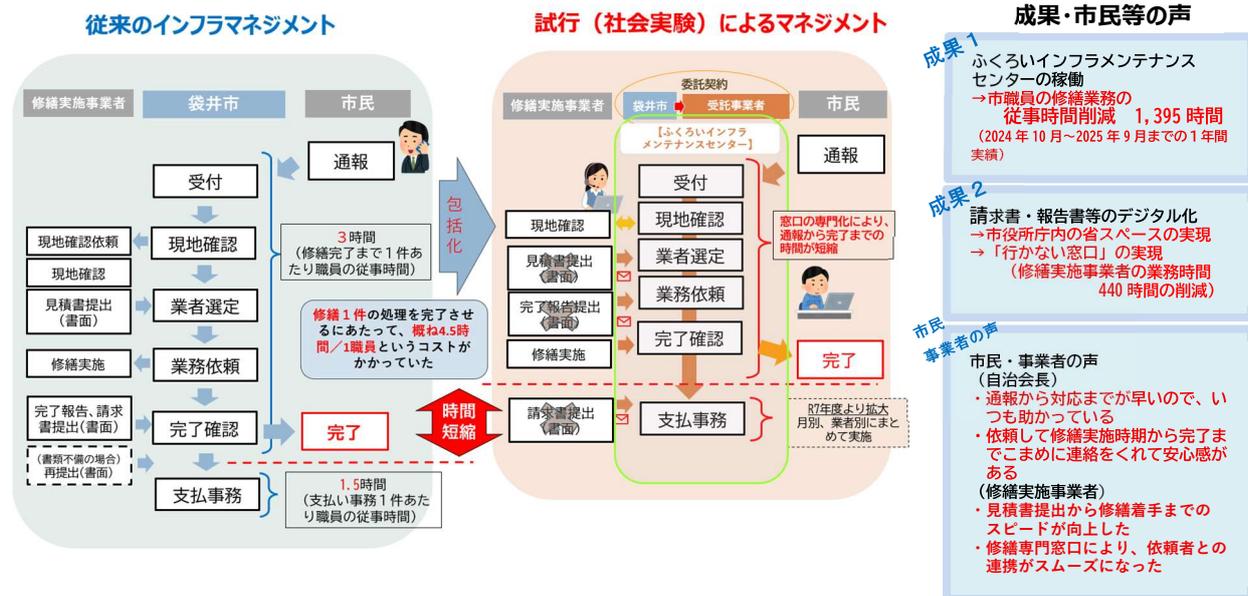
◇道路、河川、公園などインフラの老朽化が進行し、対応が必要な修繕等が増えていることに加え、それらのメンテナンスにあたる土木技術者の人材不足などが社会的な課題となっている。

◇将来にわたり安全で安心できる状態を確保していくための手法として、本市は、2024年度から袋井方式のインフラの包括的民間委託手法を導入する社会実験を開始、同年10月から市民の通報を受け付ける専用の窓口『ふくろいインフラメンテナンスセンター』を開設している。

◇これまで行政が担ってきた一連の業務（市民からの通報を受け付け、修繕の発注と施工を管理し、修繕費を支払うなど）を包括化して委託することで、効率的で効果的、かつ将来にわたり持続可能な体制構築を目指すことが袋井方式の特徴である。この手法を導入することで、土木技術者が不足する中でも市民サービス（適切な維持管理）を維持しつつ、新たな社会課題に対応するための企画立案などのコア業務に人員を充てることが可能となった。

◇本年（2026）年4月からは、道路パトロールや路面清掃なども包括化するほか、修繕費支払い予算を大幅に増大させるなど、これまで以上に効率的・効果的な運用を行う。

### 1 包括的民間委託の概要とこれまでの成果



### 2 社会実験の中で試行していく事項

- (1) スケールメリットが働くよう、対象とする業務範囲やエリアの拡大
- (2) 土木技術者が従事する時間の削減等についての効果測定
- (3) より効率的でより効果的な包括業務の実施方法の検証

### 3 2026年4月からの取り組み

- (1) 包括民間委託受託事業者：株式会社フジヤマ袋井営業所
- (2) 拡充の内容
  - ア 道路パトロール業務や道路清掃などを委託業務に加え業務範囲の拡大
  - イ 修繕費の支払い業務の予算を拡大（R7:600万円 ⇒ R8:6,000万円）
  - ウ スケールメリットの拡大に向け、広域化が図られるよう近隣市町や県などと積極的に情報交換し、水平・垂直展開を目指す。



### 【お問い合わせ先】

袋井市 都市建設部 都市計画課 まちづくり政策室（担当：多田）

電話：0538-44-3194 FAX：0538-44-3145 メール：toshikei@city.fukuroi.shizuoka.jp